

ニプロ株式会社 代表取締役社長 山崎 剛司 2026年 年頭所感

「“和ごころをもった真のグローバル総合医療メーカー”として、実行の1年に」

謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

2025年、当社は経営体制を刷新いたしました。創業社長の佐野 實・2代目社長の佐野 嘉彦が築きあげてきた事業基盤を引き継ぎ、大きく成長したニプロという「箱」を「宝箱」にする、すなわち企業価値の更なる向上を目指してまいります。また、ニプロは昨年開催された大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンにブースを出展しました。2050年の未来医療にニプロがどのように貢献できるのかと社内で真剣に考えたことを財産に、次はそれらの具現化に取り組んでいきたいと考えています。

2025年は、昨年5月に発表した中期経営計画で掲げた2027年度の目標達成に向けて、強固な土台を築いた1年でした。2026年はこの土台のうえに、目標達成に向けていよいよ様々な取組を実行していく1年と位置付けています。より高度な治療が求められる潮流がある一方、医療従事者不足に起因する医療現場の業務効率化が喫緊の課題となっています。ニプロは、医療従事者の皆さんの負担軽減や患者さんのQOL向上のお役に立てる商品・サービスをよりスピーディーに提供し、社会になくてはならない医療のインフラのような存在になるために、具体的には以下の項目に注力してまいります。

■医療機器事業

基幹事業である透析事業においては、ハイレベルな日本の医療現場で開発し、鍛えられた高品質・高機能な商品を世界に提供し続けるとともに、各国・各地域により異なる透析治療のニーズに応えられる商品・サービスを開発します。バスキュラー事業においては、より良い治療法の選択肢を提供できる最先端技術を搭載した商品を市場に投入します。

■医薬事業

抗菌薬・注射剤で高シェアをもつニプロは、その供給責任を果たすため、滋賀県にあるニプロファーマ株式会社 近江工場の稼働をもって体制を強化します。これにより、抗菌薬等のエッセンシャルドラッグの安定供給に努め、日本の医療現場を支えます。

■ファーマパッケージング事業

医薬品の安全性・有効性を損なわない、かつ医療従事者・患者さんの負担を軽減する商品の開発を進め、医療現場の効率化・安全性向上に貢献してまいります。医療機器・医薬品・再生医療とともにニプロにしかできない付加価値の高い商品をグローバルに展開してまいります。

■再生医療事業

昨年、本承認申請をした「ステミラック[®]注」の本承認取得を目指します。また、他疾患への適応拡大の検討も進めてまいります。

加えて、全ての事業活動に共通して、コンプライアンスを重視してまいります。世界中でビジネスを展開するニプロは、各国・各地域の法規制を厳格に遵守し、社会の良き市民・良きパートナーであり続けます。

私たちが目指す姿は、「和ごころをもった眞のグローバル総合医療メーカー」です。これは、日本の伝統である「和」の精神、すなわち相手を尊重し、調和と協調を重んじる心をもちながら、高い商品価値とサービス力で競争に打ち勝っていくという私たちの決意です。世界中のニプログループ従業員一同、全ての事業において、「和ごころをもった眞のグローバル総合医療メーカー」を目指して邁進してまいります。

結びに、皆さまのこの1年のご健勝とさらなるご発展を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

ニプロ株式会社
代表取締役社長 山崎 剛司

お問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション部 PR室 TEL 06-6310-6650

※受付時間9時～17時45分(土・日・祝日・当社休業日を除く)

このニュースリリースは、報道関係者や株主・投資家等の皆さまを含む多くのステークホルダーに対し、当社の企業活動に関する情報やその取組み概要について、公平かつ適切なタイミングで提供することを目的としています。

文中に含まれる当社取扱製品やサービスに関する情報は顧客誘引や医学的アドバイスを意図するものではありません。